

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社 FOOD & LIFE COMPANIES（証券コード: 3563）

【据置】

長期発行体格付	A-
格付の見通し	安定的
債券格付	A-

■ 格付事由

- 外食大手の一角。回転寿司チェーン最大手あきんどスシローを傘下に置く持株会社。グループは、経営戦略、人事、財務などの点で強い一体性を有しており、格付はグループ全体の信用力を反映している。直営方式で運営する「スシロー」を主力とし、業界屈指の食材調達力、原価率50%を目安とする商品政策、味と鮮度に拘るための店内調理、ITシステムを活用した効率的な店舗運営などを強みとする。グループとして、24年6月末時点で1,137店舗（国内970店舗、海外167店舗）を構える。
- 業績は回復しており、今後も一定の収益力を確保できるとみている。国内スシロー事業では価格改定が消費者に浸透したとみられるほか、商品施策によって消費者の需要を捉えており、強固な競争力が維持されている。海外スシロー事業は順調に事業規模を拡大しており、新たな収益源として利益を底上げしている。財務面では有利子負債が高水準にあるが、現状程度の財務構成は維持される見通し。以上より、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 24/9期（IFRS）は売上収益3,600億円（前期比19.3%増）、営業利益220億円（同2.0倍）と、コロナ禍前（19/9期145億円）を超える高水準の利益を計画する。客数の回復によりトップラインが伸長している。また、コスト増は続いているが、高い調達力や価格改定効果、効率的な店舗運営などによって原価を適切にコントロールしている。国内スシロー事業では出店余地が狭まる中、近年は既存店強化に注力しており、その効果に注目していく。海外スシロー事業では、中国の景気動向に留意は必要であるが、それ以外の地域は堅調である。今後も店舗数や展開地域の拡大とともに利益成長が見込まれる。
- 24/9期第3四半期末（IFRS）の親会社の所有者に帰属する持分は746億円（23/9期末は722億円）、親会社所有者帰属持分比率は20.2%（同20.1%）となった。依然として財務の改善余地があり、利益による資本蓄積ペースを上げることが課題である。現中期経営計画（24/9期～26/9期）では海外を中心に積極的な成長投資を計画しているが、事業環境を踏まえて適宜投資計画を見直しており、財務リスクが高まる懸念は小さい。

（担当）佐藤 洋介・石崎 美瑛

■ 格付対象

発行体：株式会社 FOOD & LIFE COMPANIES

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A-	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第1回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	50億円	2020年1月23日	2025年1月23日	0.170%	A-
第2回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	50億円	2020年1月23日	2030年1月23日	0.350%	A-
第4回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	120億円	2023年12月20日	2028年12月20日	1.062%	A-

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第5回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	76億円	2023年12月14日	2028年12月14日	1.062%	A-

格付提供方針等に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2024年8月27日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：佐藤 洋介
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024年2月1日）、「外食」（2023年6月1日）、「持株会社の格付方法」（2015年1月26日）、「国内事業法人・純粋持株会社に対する格付けの視点」（2003年7月1日）として掲載している。
- 格付関係者：
（発行体・債務者等） 株式会社 FOOD & LIFE COMPANIES
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル